

**製品名: Dok-4 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab10108**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	37kDa

## 抗原情報

遺伝子名	DOK4
別名	DOK4; Docking protein 4; Downstream of tyrosine kinase 4; Insulin receptor substrate 5; IRS-5; IRS5
遺伝子 ID	55715.0
SwissProt ID	Q8TEW6
免疫原	抗血清はヒト DOK4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

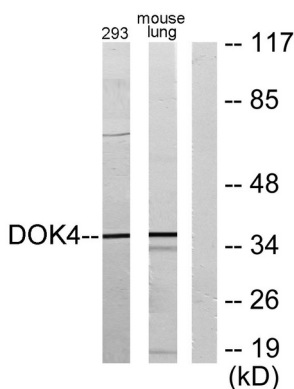
## 背景

ドメイン:PTB ドメインは受容体との相互作用を媒介します。機能:DOK タンパク質は、酵素的に不活性なアダプターまたは足場タン

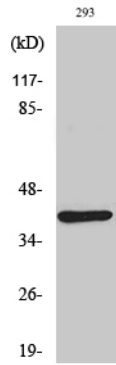
パク質です。多分子シグナル伝達複合体の組み立てのためのドッキングプラットフォームを提供します。DOK4はRETを介した神経突起伸展に機能し、MAPキナーゼ経路の活性化に重要な役割を果たします(類似性による)。神経分化におけるRETの下流エフェクターとの推定上のリンク。T細胞によって誘導される免疫応答の調節に関与している可能性があります。、PTM:インスリン、IGF1、またはRET刺激に応答してチロシン残基がリン酸化されます。、類似性:DOKファミリーに属します。タイプBサブファミリーです。、類似性:1つのIRS型PTBドメインを含みます。、類似性:1つのPHドメインを含みます。、サブユニット:RETおよびTEK/TIE2と相互作用します。RETとの相互作用はPTBドメインを介して行われ、RET「Tyr-1062」のリン酸化が必要です。、組織特異性:広く発現しています。骨格筋、心臓、腎臓、肝臓で高い発現を示します。脾臓、肺、小腸、脳、心臓では発現が弱くなります。休止期および活性化末梢血T細胞の両方で発現します。、ドメイン:PTBドメインは受容体との相互作用を媒介します。、機能:DOKタンパク質は酵素的に不活性なアダプターまたは足場タンパク質です。多分子シグナル伝達複合体の組み立てのためのドッキングプラットフォームを提供します。DOK4はRETを介した神経突起伸展に機能し、MAPキナーゼ経路の活性化に正の役割を果たします(類似性による)。神経分化におけるRETの下流エフェクターとの推定上の関連。T細胞によって誘導される免疫応答の調節に関与している可能性がある。、PTM:インスリン、IGF1、またはRET刺激に応じてチロシン残基がリン酸化される。、類似性:DOKファミリーに属し、タイプBサブファミリーに属する。、類似性:IRS型PTBドメインを1つ含む。、類似性:PHドメインを1つ含む。、サブユニット:RETおよびTEK/TIE2と相互作用する。RETとの相互作用はPTBドメインを介して行われ、RET「Tyr-1062」のリン酸化を必要とする。、組織特異性:広く発現している。骨格筋、心臓、腎臓、肝臓で高い発現を示す。脾臓、肺、小腸、脳、心臓では発現が弱い。休止期および活性化末梢血T細胞の両方で発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



DOK4抗体を用いた293およびマウス肺のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Dok-4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析